

2011年度 冬季研修会 報告 2

アンケート まとめ ご協力有難うございました！

～ これからの研修および会の活動に活かしていきます ～

講座の感想など

A. 発達支援と教材教具

～経験の少ない先生方のための支援教育の教育実践



- ・とても具体的なお話を聞かせていただきました。また、多くの教材教具を見せていただき、とても参考になりました。(同様の意見感想、多くありました)
- ・手軽な百均のものを使いながらも、しっかりと教材の標準化ができれば理想的だと思います。
- ・視覚だけでなく、触覚の支援、また平面だけでなく立体を、と実践していきたいと思います。
- ・紹介していただいた教材は、特別支援学級だけでなく、通常での支援が必要な児童にも効果があると分かった。
- ・教材づくりの大切さと、使いこなせなかった型はめの大切さがわかった。
- ・教具を使うことで、「出来た感」、成功体験ができる。
- ・視覚支援は本校でも取り入れています。触覚支援という言葉は始めて聞きました。でも、言われてみれば、子どもたちは肌でもものを感じているなあ、と思います。触覚も大切ですね。数の概念が入らない児童がいます。今まで平面で指導してきましたが、立体でやってみようと思います。今日収穫したことを職員で共有したいと思います。
- ・ボランティアで自閉症やアスペルガーの子どもたちと関わっています。そこでは、人との関わりを重視し、遊びを中心に活動を展開しているのですが、遊びの中で、うまくできなくて、自信をなくす子どもたちがいます。今日紹介された教材や、子どものつまづきに気づく視点など、これからの活動で活かしたら、と思います。
- ・現在、勤めている学部でも太田ステージを使っています。共感することばかりで、さらに知識を深めることができました。

B. 4月からはじまる新しい障害児福祉

- ・複雑な法改正の内容を分かりやすく説明していただきました。福祉、とりわけ児童福祉を身近に感じられました。放課後のサービスが充実していくことを期待しています。特に重心(重度心身障がい児)

の子ども達の居場所づくりには大いに期待したいです。本市には重心の子どもの行き場がほとんどないので。(現場の教職員のみならず)市の行政(委員会)と市の部局とが連携を深めて、この福祉制度の改正を受けとめ、障がいのある子ども達の自立に向けた支援のあり方を考えていってほしいものです。



- ・新しい法案について、まだ出来上がっていない現状を聞き、驚いています。総合福祉法の概要もよく分かりました。変化の要点が整理されていて、これからもよく法律について見ていきたいと思いました。新聞“ステージ”ありがとうございました。
- ・社会全体にこの現実が入らないと(差別をしないんだということ)、税を負担する国民は分からないままになりますね(むずかしい話です)。そのための未来の国民(今の子)にどう話したらいいのかは、大切ですけど……これもむずかしい話ですね。
- ・国の施策の遅れによって大変苦勞するのは、市町村だったり利用する方だったりということが、よく分かりました。児童福祉法に一括するのはいいことだと思います。
- ・福祉制度について、この間の変遷についてあまりの速さにまったく理解できませんでしたが、ある程度形として見えてきたように思います。教育に関わる者として、制度を知らないままでは無責任に思われ参加させて頂きました。
- ・利用される側、事業者の側、法律をつくる側、それぞれの立場で考えると、なかなかひとつにまとまっていけないのだということが分かりました。
- ・個人的には、療育手帳のない子ども達の支援にたいへん苦勞しております。支援体制の充実と福祉・教育分野とのつながりも深まればよいなあと思いました。
- ・法律が変わると当然現場も変わることを改めて認識しました。いわゆる「先進国」並みに追いついていない分野であることを、もっとみんなが知る必要がありますね。ケア・マネージャー制度が本当にうまく施行され(かなり専門性が必要ですが)生涯を通じて一貫した支援がしてもらえれば、と思いました。政権が安定して欲しいものですね。
- ・中学校では進路をどうするのか、それを見据えて活動することが重要です。卒業後の直の進路はもとより、将来の生活・自立・支援のされ方を頭に入れた活動を少しはやっていけそうです。参考になりました。
- ・障害者福祉制度が実現し、市町村がうまく実行していけることをとにかく祈ります。福祉面のことを日頃は意識せずに過ごしていることを、とにかく反省しています。

C. 支援を必要とする児童・生徒の性を考える

- ・性に関しての問題以外にも支援教育に関する重要な要点が聞けてよかった。
- ・卒業しても自立できるようにと指導にあたっているが、その子どもの気持ちをもっと考えるようにしていこうと思った。
- ・性教育について大切なこと、基本的生活習慣の確立の重要性など、あらためて、日々、実践していることについて見直す良い機会になりました。

- ・事例紹介などもあり、他の先生方の視点も聞くことができてよかった。
- ・「思春期に入る前からの基本的な生活習慣の確立が大切」、「20歳の生活を見越した自立支援計画を立てる」、「プライベートゾーンをしっかりと教えることの大切さ」等がとくに心に残りました。とても参考になりました。
- ・プライベートゾーン、パーソナルゾーンについて、最後に中村さんのお話が聞けて、自分の中で、方向性が間違いでなかったとふりかえることができました。髪の毛のにおい、ストッキングの感触など、幼いときの感覚をそのまま高等部まで認めてしまったとき、困るのは、本人であると思います。早期から、この視点を持ち、子供たちに指導していくことが大切であると実感します。
- ・保護者との心のすれ違いが起こらないよう、日々、寄りそって話ができる環境づくりに心がけねば、と思いました。
- ・性の問題が起こると、つい、おろおろしてしまいがちですが、お話を参考にして、これからは、落ち着いて、対応できるのでは、と思いました。
- ・小さい頃からどのようなことをおさえて性教育を行っていけばよいか分かり、よかったです。明日からの教育活動にぜひ活かしていこうと思いました。
- ・自分の持っていた悩みについて、ていねいにお答えいただきました。ありがとうございました。



D . 心理検査(WISC - III) 理解と活用 ～アセスメント実践研修～

- ・とっても勉強になりました。でも初心者には難しかったかな…
- ・実用的で分かりやすい講座内容でした。参考にして、事例研究をやってみようと思います。
- ・解釈の仕方、流れがよくわかりました。
- ・実際にワークがあり、話を聞くだけでなく、充実した研修だった。グループで話し合えたので、いろんな面から考えることができた。
- ・難しく、何回か自分でやらないといけないと思った。現場でも「この子はこうかな？」と思うことはあっても確証はないのだけれども、検査の活用によって理論と元での確証が得られるので適切な指導にあたれると感じた。すぐには無理だが、ひとつの方法として覚えていたい。
- ・理論を土台に現場で適切な指導ができると思います。
- ・専門用語がたくさん出てきましたが、その説明をゆっくり解説していただき、そのうえで、それらを使ったワークショップできたので、よくわかりました。
- ・学級で実際に子どもに検査を試してみたいと思っています。解釈の仕方は難しく、言葉を追うのに精一杯だったので、後ほど、見直してみないといけないなあと思います。検査結果を、実際の手立てとして活用できるようになることが大切ですね。



E. TEACCHプログラムを知ろう、TEACCHプログラムのアイデアを活かそう

- ・TEACCHの本質的な考えや理念が聞けて良かったです。
- ・以前に少しはかじっていたのですが、本日、とてもわかりやすく話して頂いたので、ますます興味が湧き、奥深いものだと感じました。
(同様の意見、多くありました)
- ・自立支援の課題のノウハウがよくわかりました。構造化のアイデアをもう少し詳しく教えてほしかったです。写真をもっと見たかったです。
- ・TEACCHプログラムの理念をわかりやすく話していただいた。(初めてちゃんとした話を聞きました。)自分でできることを増やしていってあげること、それを大事にしているんだなと改めてわかりました。言葉でのコミュニケーションがとりにくい子に視覚的な支援を使って、わかりやすく…子どもたちを見て考えていきます。
- ・最後のワークショップは、もう少し長い時間があればと思いました。担当している子どものことをより理解できるように関わっていきたくと思います。
- ・その子の強みを生かして自立できるよう支援していこうと思います。
- ・『本当に1人でしている! ?』と常に自分に問いかけながら、子どもと接していきたくと思いました。一生懸命という言葉は抽象的で、どんなに「一生懸命」でも子どもには伝わらないことを知りました。具体的にどのような支援が必要かを、目の前の子どもたちに教わりながら進めていきたいです。
- ・“TEACCH=視覚支援”というイメージがあったが、それだけではないことがわかった。
- ・本では読んだことはありますが、実際にお話をお聞きしたことは無かったので、今回参加しました。TEACCHの理念はわかりましたが、短時間だったので少し走りすぎてしまって、所々、理解しにくいところがありました。
- ・何のためにTEACCHを使うのか、子どもたちの障がいをどうとらえているのか、子どもの思いに寄り添うことの大切さをあらためて考えさせられました。
スクリーンの位置を考えてもらえればよかったです。
- ・その人に合った支援を考えていくことが大切なのだとということと、支援する側の柔軟な対応が欠かせないと感じました。
- ・TEACCHの基本を詳しく説明していただき、指導の一つのツールであることを確認することができた。現場ではTEACCHがすべての支援である、機械的にTEACCHを活用しているなど、いろいろ課題が出てきているので、改めてTEACCH本来の意義を再確認することができた。
- ・事例紹介(支援の具体的方法)の時間がもう少しあるとよかった。TEACCH活用の実際についても、ビデオやスライドを通して紹介していただけるとよかった。またの機会にお願いしたい。



F. 教室でできる特別支援教育

- ・子どもと同じトレーニングを体験できてよかった。
- ・実際にやらせていただき、こどもの気持ちや様子が分かりました。
- ・自分自身も落ち着いた気持ちになった。
- ・ワークで自分自身できなくてかなりへこみました。
- ・実際のトレーニング方法があったので大変わかりやすかった。
- ・子ども達にあわせてやってみたい。
- ・私が今、支援で持っている子には難しすぎると思うので、取り入れられる所を実際にやってみたい。
- ・「先生の声はカリスマの声」の訓練、目からうろこです。
- ・どう子ども達に支援していくかというヒントをたくさんいただいた。
- ・教室でトレーニングすることで伸びる子が結構いるだろうなと思った。
- ・集中できるスキルを身につけることで、子どもも楽になれるのではないかと と思いました。
- ・見る、聞くを大切にしたいと思う。
- ・いかに集中させることが重要かわかった。
- ・使えるスキルを教えていただいてよかった。
- ・子ども達の行動や成績で、これぐらい大丈夫と自分で決めつけていた部分があるなと感じた。
- ・ちゃんと子どもの原因や課題を把握できているか不安になりました。訓練はさっそくやってみたい。
- ・子どもたちが、できない→なんで→指導・・・指導法に悩む日々です。指導の一部分でこの訓練を入れてみたい。
- ・あたりまえですが、教師の準備力も必要やなあーと思った。ただ漠然と「なんでやろ、この子なんでできないのかな」と思っていたのですが、指導のスキルを教えていただいてよかったです。
- ・自分の授業の反省になった。
- ・集中に耐えうるだけの授業内容や話し方の反省につながった。
- ・子ども達がうまくできないのは教師側の課題、目標がうまく設定できていないからだと思います。今日の話を受けて、子ども達にかえしていけるようがんばりたいと思います。
- ・先生の著書を読んでいたもので、お話を聞きたいと思っていました。実際に伺ってよかったです。
- ・以前学級で取り組んだこと（百マス計算、聴写、視写など）を思い出し、形は違っていたが、それなりに効果を感じたなあと思い出しました。
- ・集中するトレーニング、ぜひ学校で先生方に紹介したい。低学年の子どもたちのスクリーニングをすべきだと思いました。できない子のできない原因を探り、対処していくことが、学力向上対策、校内の規律（おちついた学校）にも重要だと思いました。
- ・お話も訓練もすごくわかりやすく、2時間は少し長いと思っていましたが、あっという間でした。



